



# 令和5年度 ホッカイドウ競馬の取組概要

令和5年3月  
北海道農政部競馬事業室

# 令和5年度取組概要

## 1 事業推進の考え方

- 「第3期北海道競馬推進プラン」を着実に推進し、安定した収支構造を確立するため、顧客の拡大及び強い馬づくりと魅力ある番組づくりを進めるとともに、YouTube等を活用した積極的な情報発信に取り組み、一層の発売拡大を図る。

## 2 開催日程

- 全日程、門別競馬場でナイター開催。
- 開催期間は、82日間15開催（前年比△3日）。

区分	日数（うち祝日）	開催数	期間
令和5年度	82（3）	15回	4/19～11/9
令和4年度	85（5）	15回	4/13～11/10
増減（R5-R4）	△3（△2）	0	-

## 3 発売目標額

- 458.2億円（R4計画：439.1億円、R4実績：527.7億円）。

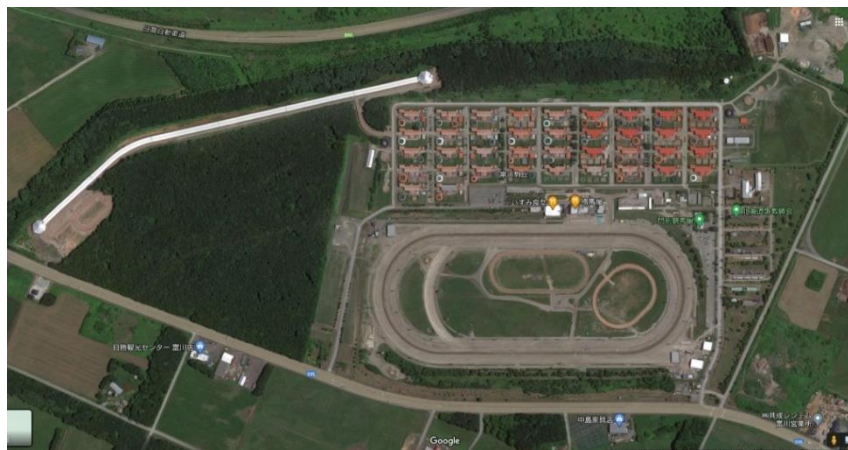
## 4 主な取組（新規・拡充）

第3期推進プランにおける取組方向	主な取組（新規・拡充）	
1 ヒトの充実	○騎手・きゅう務員の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>新人騎手に対する手当制度の創設（100万円を上限に馬具の購入などの支度金を支給）</b></li> <li>・<b>冬期騎乗馴致手当の創設（冬期に転出せず騎乗馴致に従事した騎手に50万円を支給）</b></li> <li>・冬期きゅう務員手当の支給単価増額（50千円×2回→70千円×2回）</li> </ul>
	○きゅう舎経営の安定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>冬期在厩3歳馬手当の創設（令和4年度の閉幕日までに在厩していた2歳馬が、転厩せずに翌年度の第2回までに出走した1走目に30万円を支給）</b></li> <li>・<b>冬期他場重賞遠征費補助制度の創設（令和5年度の閉幕日から翌年3月末までに、ホッカイドウ競馬在厩馬が他主催者の重賞競走に出走する場合、70万円を上限に輸送費を補助）</b></li> </ul>
2 モノの充実	○基幹施設の計画的な更新整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>きゅう舎整備予定敷地の開発許可申請を行い、許可後に林地伐採などの造成工事を着工予定</b></li> <li>・<b>業務エリアの整備に係る基本設計を実施予定</b></li> </ul>
3 ファンの拡大	○インターネット上の顧客の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>YouTubeを活用し、馬産地や2歳馬の紹介などの情報を盛り込んだ企画番組の制作・放映</b></li> <li>・ホッカイドウ競馬の特色である2歳馬戦に着目した情報発信を強化</li> </ul>
	○顧客の拡大対策（門別競馬場）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>新たなタレントの起用など、ホッカイドウ競馬の認知度向上に向けたPR</b></li> <li>・<b>コロナ禍で休止していた競馬開催期間中の札幌駅から門別競馬場までの送迎バス運行を再開</b></li> </ul>
	○顧客の拡大対策（場外発売所）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>南関東競馬と連携したAibaでのトークイベントなど発売促進対策の実施</b></li> </ul>
4 馬と番組の充実	○馬・馬主の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>全国最低水準となっていた3歳以下の下級クラスの賞金単価の増額（30万円→40万円）</b></li> <li>・<b>出走手当の引上げ（75～90千円→100千円、110千円→120千円）</b></li> <li>・冬期在厩3歳馬手当の創設（再掲）</li> </ul>
	○強い馬づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬期在厩3歳馬手当の創設（再掲）</li> <li>・冬期他場重賞遠征費補助を創設（再掲）</li> </ul>
	○魅力ある番組づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全日本的なダート競走体系の整備に伴い、<b>ダートグレード競走の魅力を高めるために必要な見直しの実施</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇2歳短距離戦であるエーデルワイス賞の実施時期変更（10月中旬→11月上旬）</li> <li>◇短距離競走の体系整備の観点から、高額賞金の2歳重賞級認定競走（ネクストスター門別）を新設</li> </ul> </li> <li>・新たに供用開始となった種牡馬産駒限定戦（<b>新種牡馬戦</b>）の実施</li> <li>・令和5年11月3日（金祝）に<b>大井競馬と共同開催でJBC競走を実施</b></li> </ul>
5 サービスの向上	○インターネット上のサービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回線速度を増速し、<b>公式ホームページのアクセス環境を改善</b></li> </ul>
	○情報発信内容の改良・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予想情報の少ない<b>2歳馬</b>について、<b>屋内調教用坂路における調教映像を公式ホームページで公開</b></li> <li>・公式ホームページに掲載する専門紙予想情報の充実</li> </ul>

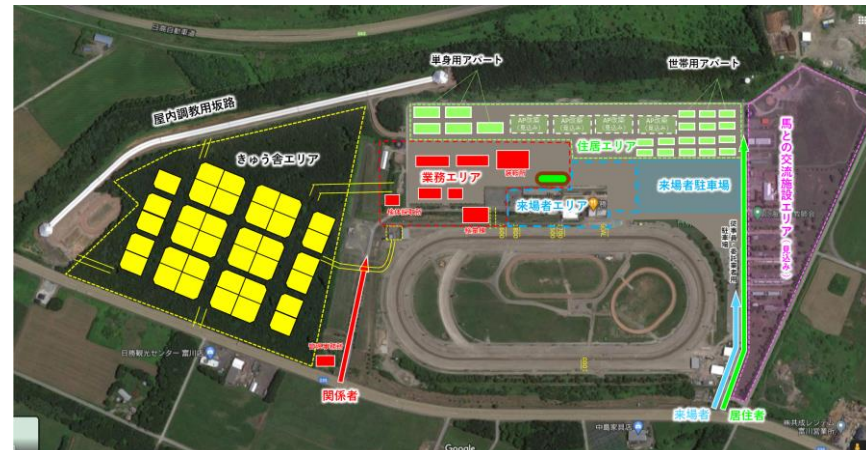
# 5 門別競馬場基幹施設整備の概要

門別競馬場の基幹施設は老朽化が進行し、様々な不具合が生じていることから令和5年度以降、きゅう舎や業務施設などを含めた基幹施設の再編整備に取り組む予定。

## 1 現状



## 2 再編整備後のイメージ



### 施設の再編整備の考え方

- 坂路下の林地に馬房のみを移転【馬と人を分離】
- 住居は旧きゅう舎エリアの山側【集合住宅を建設】
- 業務施設をJBC駐車場から西側に移設
- 来場者門と関係者門の配置を入れ替え
- 来場者エリアの移動・拡大
- 交流施設エリアを創設



### きゅう舎整備の概要

- きゅう舎敷地 33区画
- ロング場 6か所
- 馬乗降所 3か所
- ゲート練習スペース 1か所
- 公衆トイレ 1か所

#### 【きゅう舎区画内の施設】

- きゅう舎 (馬房)
- 倉庫兼事務所
- ウォーキングマシーン
- サンシャインパドック